

※本書に記載のある個人に関わる属性などの情報やお写真は  
全て本人確認を行い、了承を得た情報のみを掲載しています

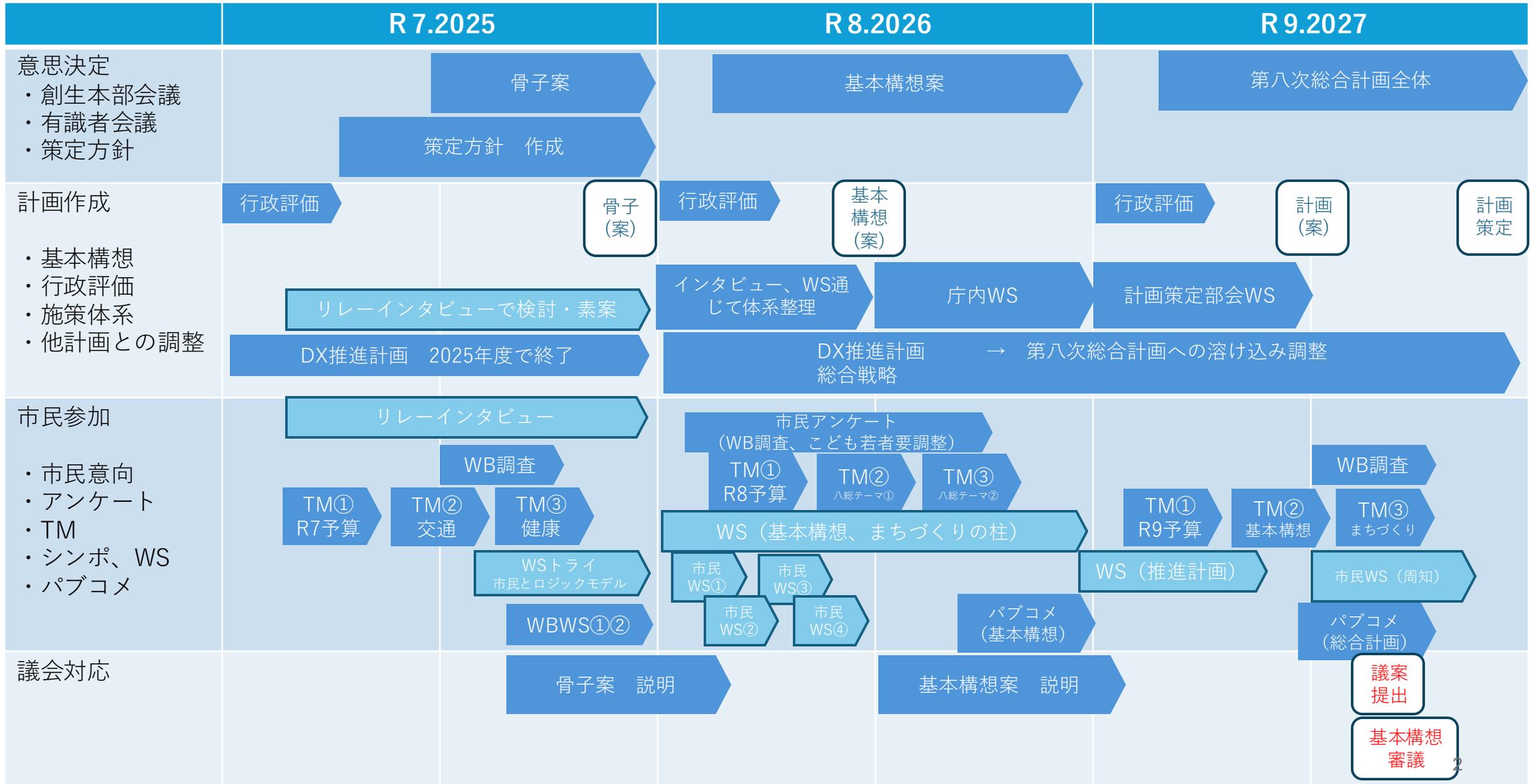
# 市民インタビュー実施結果(分析レポート)

---

08/03/10 前橋市



# 第八次総合計画\_策定スケジュール(予定)



## こんな前橋になったら良いなを聞かせてください

### 市民インタビュー

#### ● 背景

前橋市総合計画策定に向けて、今年度は骨子案作成のために「基本構想」「まちづくりの柱」政策推進課08/02/20  
る部分を検討するにあたって、多様な属性の市民と直接意見交換を行なうことで、市民が感じている  
前橋市に対する想いや、魅力・課題などを率直に受け止めたい

#### ● 目的

次期前橋市総合計画「基本構想」骨子案と「市民ワークショップ」内容を検討するにあたり、多様な属性の市民から生活実態や意識を把握し、今後の方向性の検討材料とする。

## 【全体概要】

### ●実施内容

実施期間：R7.8月～12月

実施手法：①個別ヒアリング（個別ヒア）②グループインタビュー

区分	狙い	インタビュー方法
個別ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民が感じている生活実感等を聴取</li><li>・各分野の深い意見を聞く、把握</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・同一のフローに基づきヒアリング（1人1時間程度）</li><li>・事前アンケート回答を必須とし、回答者の中から年代、性別、関わりのある分野等に配慮して選出</li></ul>
グループ	<ul style="list-style-type: none"><li>・関係する方で話し合う、共感</li><li>・立体感のある意見を集約する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・グループ毎に対象者選定後、それぞれでインタビューフローを構築</li><li>・ディスカッション形式でヒアリング</li></ul>

### ●実施結果（人数等）

区分	人数・グループ等	備考
個別ヒアリング	54人	※事前アンケート回答者は129人
グループ	2テーマ（6グループ）計31人	①共生社会、②若者・こどもの2テーマ

## 個別ヒアリング

# R7市民インタビュー\_\_お話を伺った市民の皆様



## 【個別ヒアリング】実施の流れ

対象者の選定

**事前アンケート**  
アンケート回答者の  
中から分野ごとに選  
出

市民インタビュー

**老若男女50人程度**  
を目途に生活実感、  
課題や魅力、期待す  
ることを聴取

次期総合計画へ

次年度WSや基  
本構想の検討材  
料として活用

### 【インタビュー内容主なもの】

- (1) 自己紹介（お互いに）
- (2) 前橋市のまちづくりについて（前橋市から）  
インタビュー実施背景、目的について
- (3) インタビュー
  - ① 在住背景・市民としての生活実態・意識
  - ② 分野ごとの実態・魅力や課題
  - ③ クロージング、振り返り

### 個別インタビューの様子 期間：R7.8月～12月



・ 1人ずつ約1時間ほど、お住いの背景や生活実感、前橋市の魅力や課題など聴取

## 【個別ヒアリング】事前アンケート内容

インタビュー内容

(1) 事前アンケート)

### 【属性】

- 1 名前
- 2 ふりがな
- 3 年齢（数字のみ記入、年代でも可）
- 4 性別
- 5 所属（職業等）
- 6 家族構成
- 7 居住地区・町

### 【設問】 ※Q1,2の選択分野はウェルビーイング指標の24因子

- Q1 あなたが【普段関わりがある分野】をすべてお選びください
- Q2 あなたが【「特に深い」関わりがある分野】だと思えるものを3つお選びください
- Q3 あなたが現在、前橋市で生活する上で感じている【好き・嫌いの度合い】を教えてください
- Q4 Q3で回答した理由を簡単にお書きください
- Q5 あなたが現在、前橋市で生活する上での【生活満足度】と【幸福度】をそれぞれ10点満点で評価してください
- Q6 現在、前橋市（行政）が推進するまちづくりについて、【期待すること】を自由にお書きください

### 【インタビュー協力について】

Q7 個別インタビューにご協力いただけますか

※Q8以降は「協力できる」「検討中」「その他」と回答したひとのみ表示

Q8 個別インタビューの日程調整でご連絡させていただくため、連絡先をご記入ください

Q9 個別インタビューにご協力いただける曜日および時間帯のうちあてはまるものすべてをお選びください

Q10 インタビューについてのご希望や連絡事項、ご相談などがあれば自由にお書きください

## 【個別ヒアリング】テーマ選定

### 対象者

- ①原則、前橋市民
- ②前橋市で活動している企業、団体、前橋市出身者、在勤、在学も考慮

### 対象者区分イメージ

分野はウェルビーイング指標の24分野から15分野を6テーマで括って構成

#### 【インタビュー分野】

#### 【区分①】

雇用・所得、事業創造

11人

#### 【区分④】

事故・犯罪

8人

#### 【区分②】

医療・福祉、健康状態

10人

#### 【区分⑤】

文化芸術

5人

#### 【区分③】

都市景観、自然景観、  
自然の恵み、環境共生、  
自然災害

8人

#### 【区分⑥】

教育機会の豊かさ、  
初等・中等教育、  
住宅環境、子育て

11人

#### 【共通質問分野・項目】

移動・交通、買物・飲食、遊び・娯楽、地域行政、  
地域とのつながり、公共空間、デジタル生活

※共通分野は全員に聴取する

#### 【全体分野】

多様性と寛容性、自己効力感

※全体分野はインタビュー全体を通して測る。  
または分析時に考慮する

## 【個別ヒアリング】

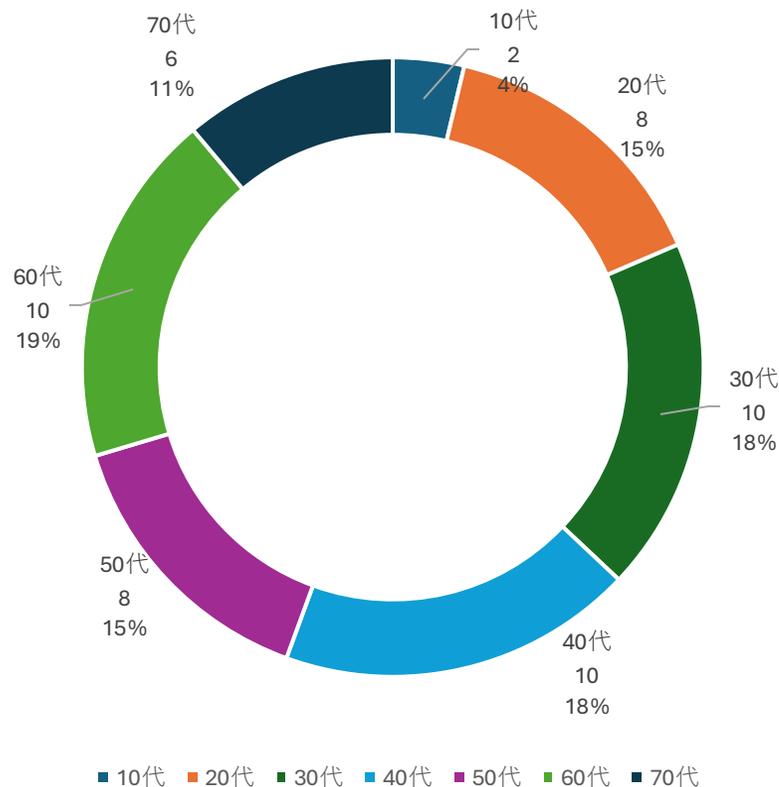
### ●実施結果（人数等）

# 54人

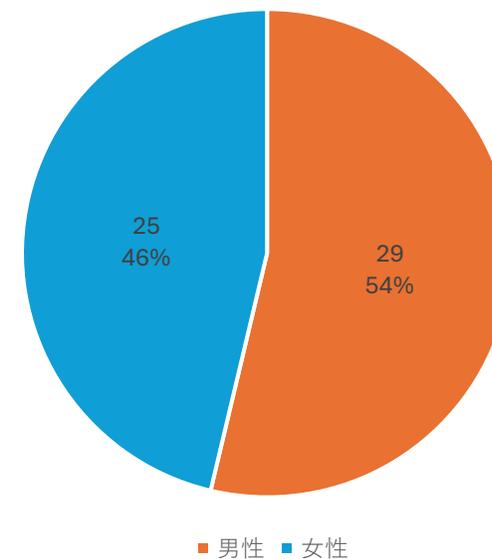
	男性	女性	計
10代	1	1	2
20代	5	3	8
30代	4	6	10
40代	6	4	10
50代	5	3	8
60代	5	5	10
70代	3	3	6
計	29	25	54

### 属性

#### 年代構成



#### 性別



#### (参考) 事前アンケート回答者数

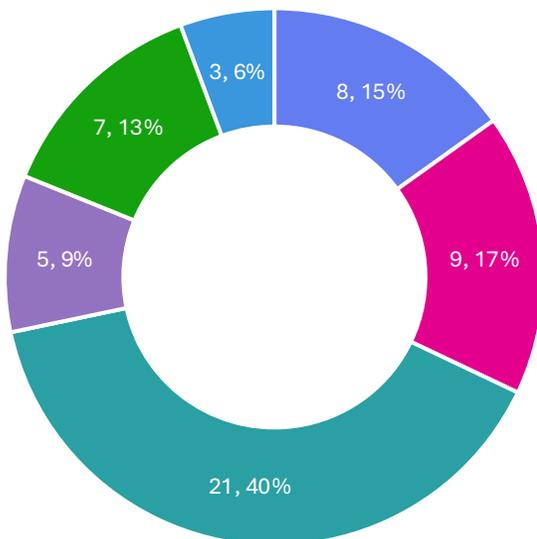
男性	女性	その他	回答しない
72	54	0	3

- ・ 10代から70代までの年代をバランスよく選定
- ・ 性別比は男性54%、女性46%

## 【個別ヒアリング】

### ●属性

#### 家族構成



- 1.一人暮らし
- 2.パートナー（配偶者・恋人など）と二人暮らし
- 3.パートナーと子どもと暮らしている
- 4.子どもと二人（または複数人）で暮らしている
- 5.親・親族と同居している
- 6.その他

#### 職業・所属



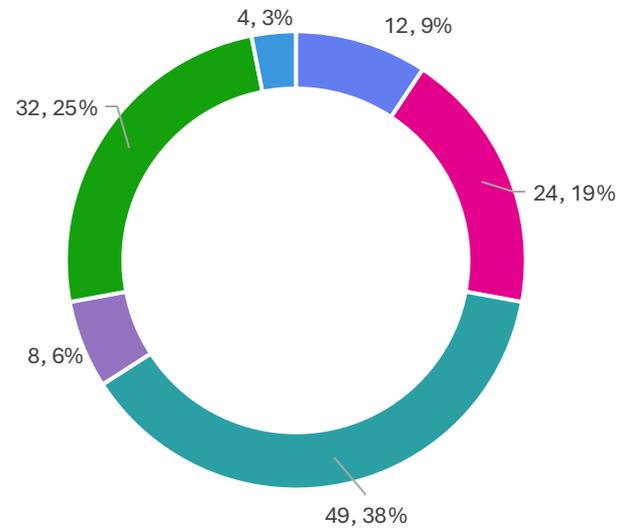
- ・ 家族構成については、パートナーと子どもと同居、パートナーと二人暮らし、一人暮らしの順。
- ・ 職業・所属は会社員が最も多く、次いで公務員、会社役員、自由業となった

## 【個別ヒアリング】

(参考) 事前アンケート回答者数129人の内訳

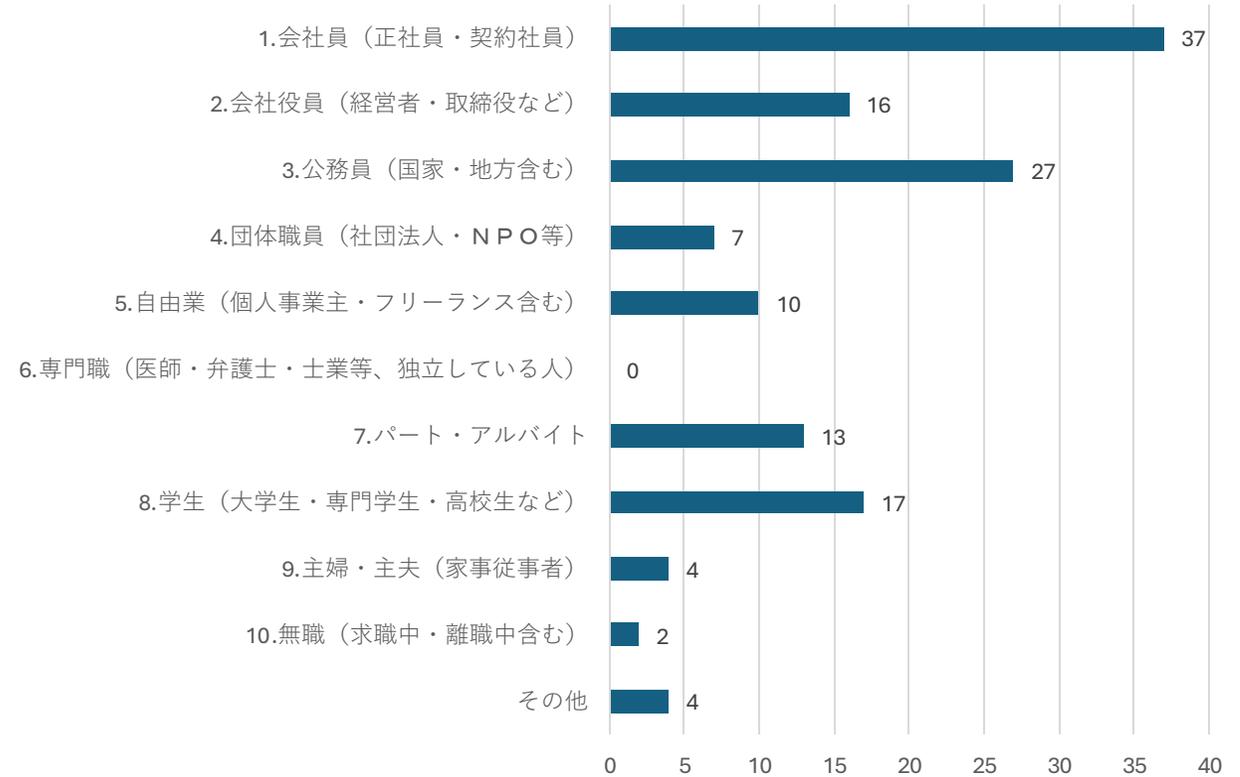
### ● 属性

#### 家族構成



- 1.一人暮らし
- 2.パートナー（配偶者・恋人など）と二人暮らし
- 3.パートナーと子どもと暮らしている
- 4.子どもと二人（または複数人）で暮らしている
- 5.親・親族と同居している
- 6.その他

#### 職業・所属



※事前アンケート回答者の中から前スライドの対象54人を選定

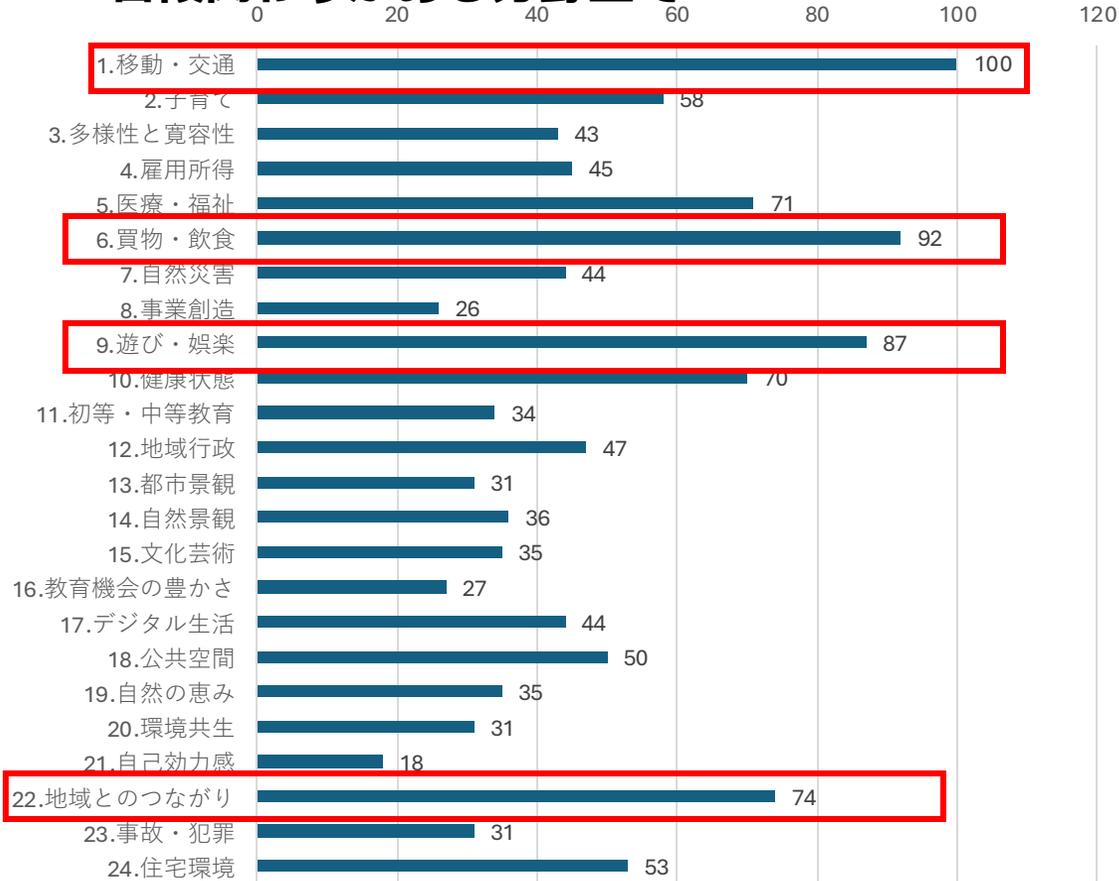
## 【個別ヒアリング】

(参考) 事前アンケート回答者数129人の内訳

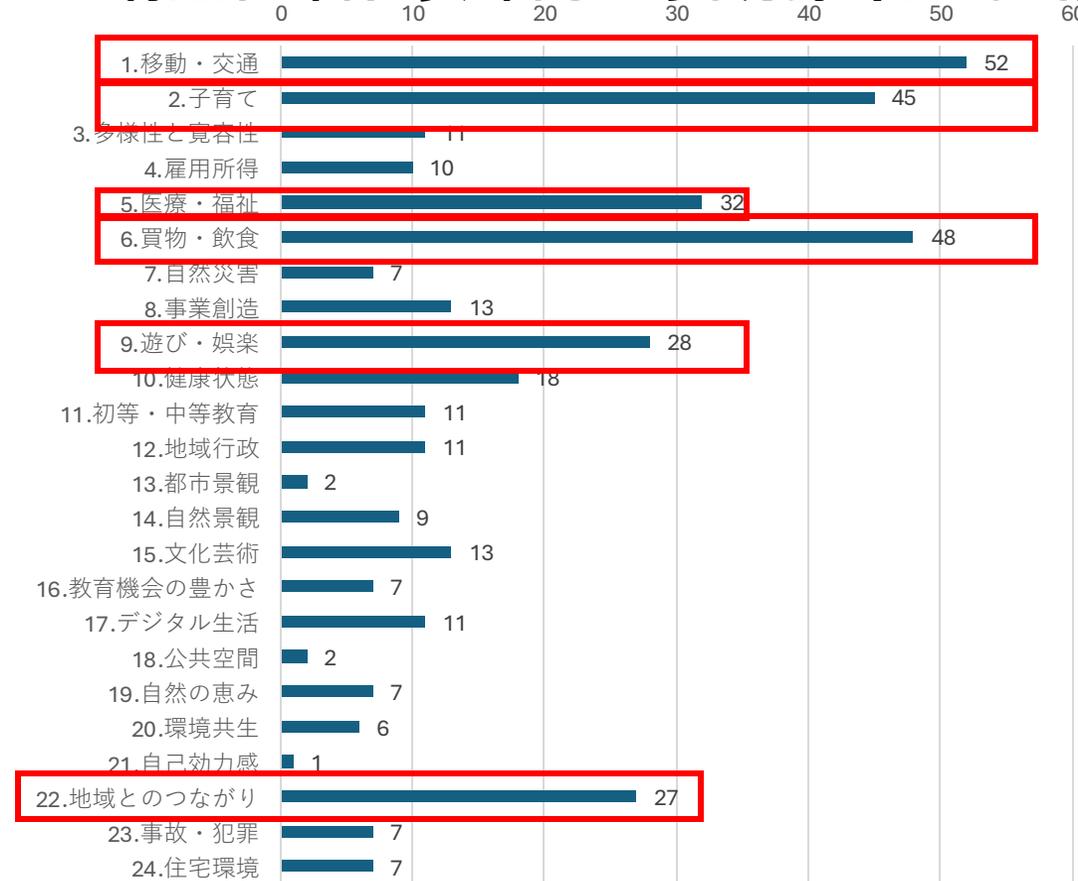
### ● 普段の関わり、関心がある分野

※分野はウェルビーイング指標における24因子から選択性

#### 普段関わりがある分野全て



#### 特に深い関わり、関心がある分野 (3つまで選択)

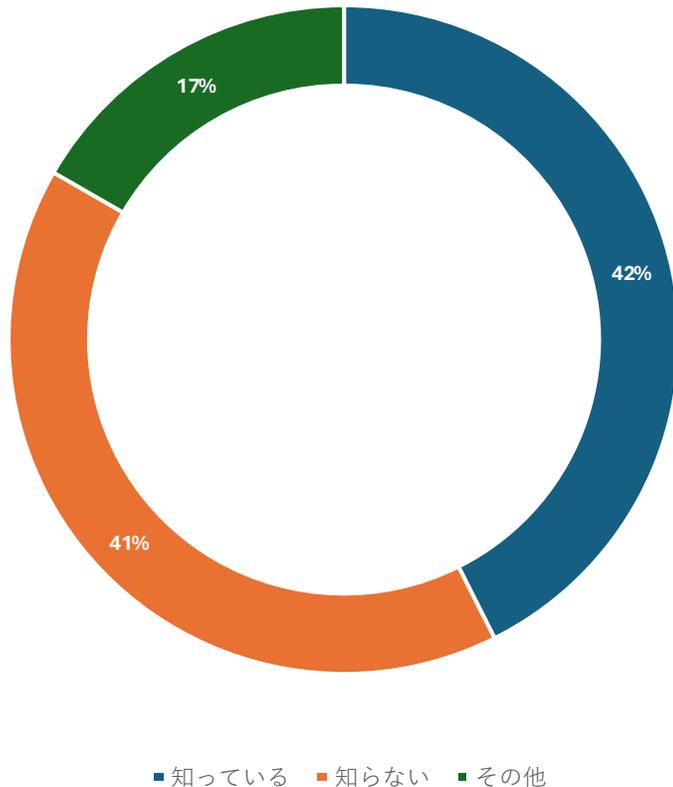


- ・ 普段の関わりある分野は1位が「移動・交通」次いで「買物・飲食」、「遊び・娯楽」
- ・ 深い関わり、関心がある分野は1位が「移動・交通」、「買物・飲食」「子育て」の順

## 【個別ヒアリング】

### ● 認知度など

#### 総合計画について



#### コメント

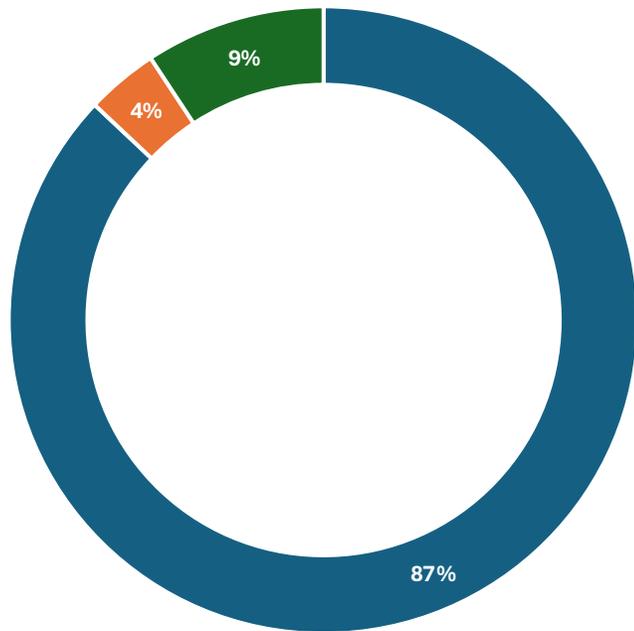
- ・ 聞いたことある
- ・ あるのは知っている
- ・ 市長が言っていたので知っている
- ・ 仕事と関係があるので読んでいる
- ・ 第六次総合計画づくりに参加した
  
- ・ 知らない
- ・ インタビューで初めて知った

・ 総合計画については約40%が存在を認知。ただし中身は良くわからないというのが実態

## 【個別ヒアリング】

### ● 認知度など

前橋ビジョン「めぶく。」について



■ 知っている ■ 知らない ■ その他

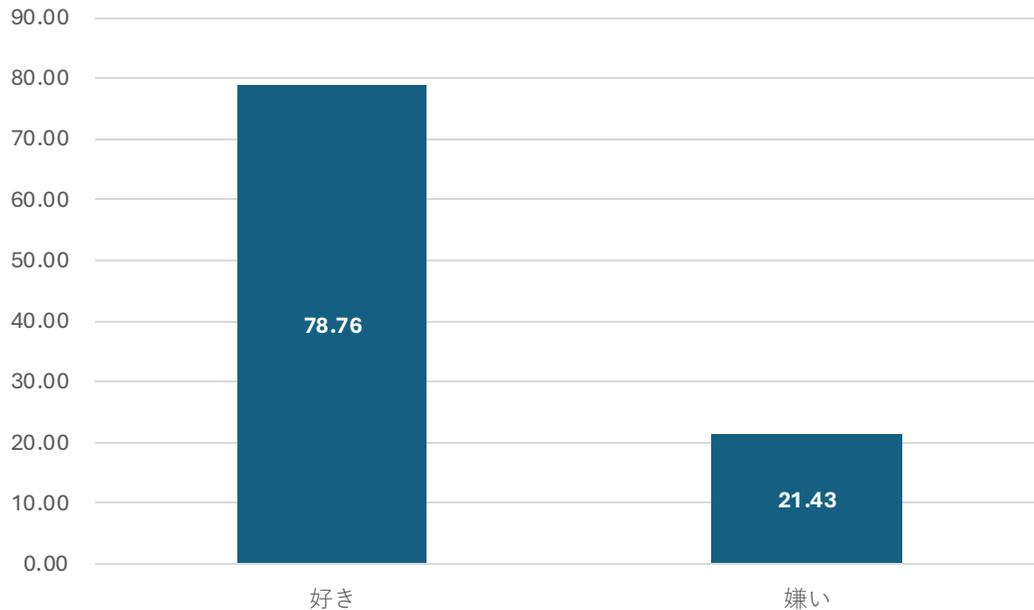
### コメント

- ・ビジョン発表会に行った
- ・めぶくPayを使っている
- ・あちこちで見る
- ・すごく良いと思っている
- ・これがあるから前橋に来た
- ・なにか動き出しそうな感じ
- ・まちなかってイメージ
- ・曖昧さがちょうど良いと思う
- ・民間と一緒に作ったやつだと認識している
  
- ・知らない
- ・はじめて知った

・めぶく。については約90%が認知。めぶくpayなどのツールから認知している市民も多数。

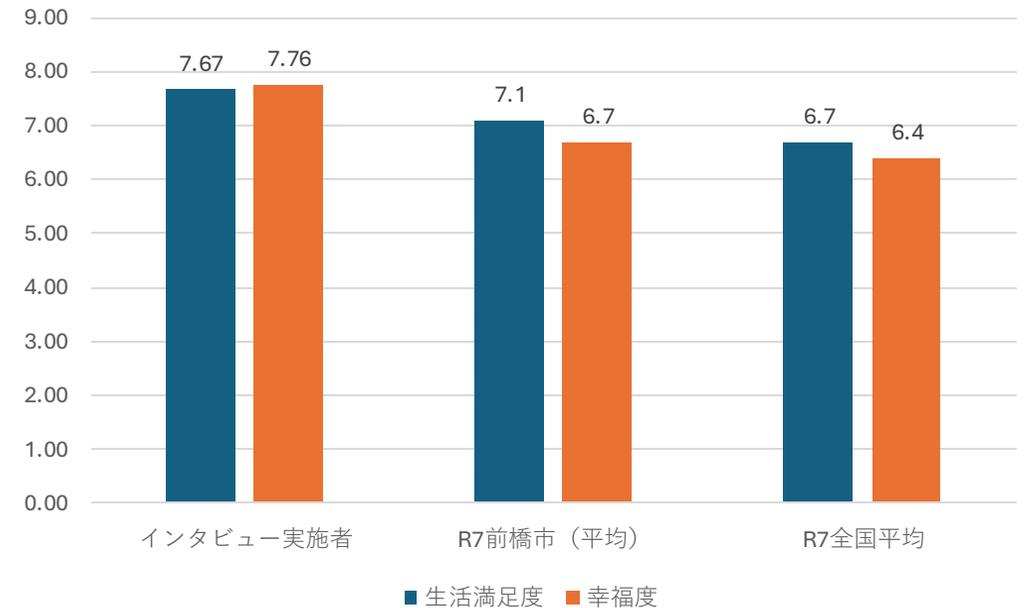
## 【個別ヒアリング】

### ● 前橋市に対する好き、嫌い度合い



※足して100になるように点数化（54人平均）

### ● 生活満足度、幸福度



0～10の11段階で、生活満足度と幸福度を数値で選択した平均

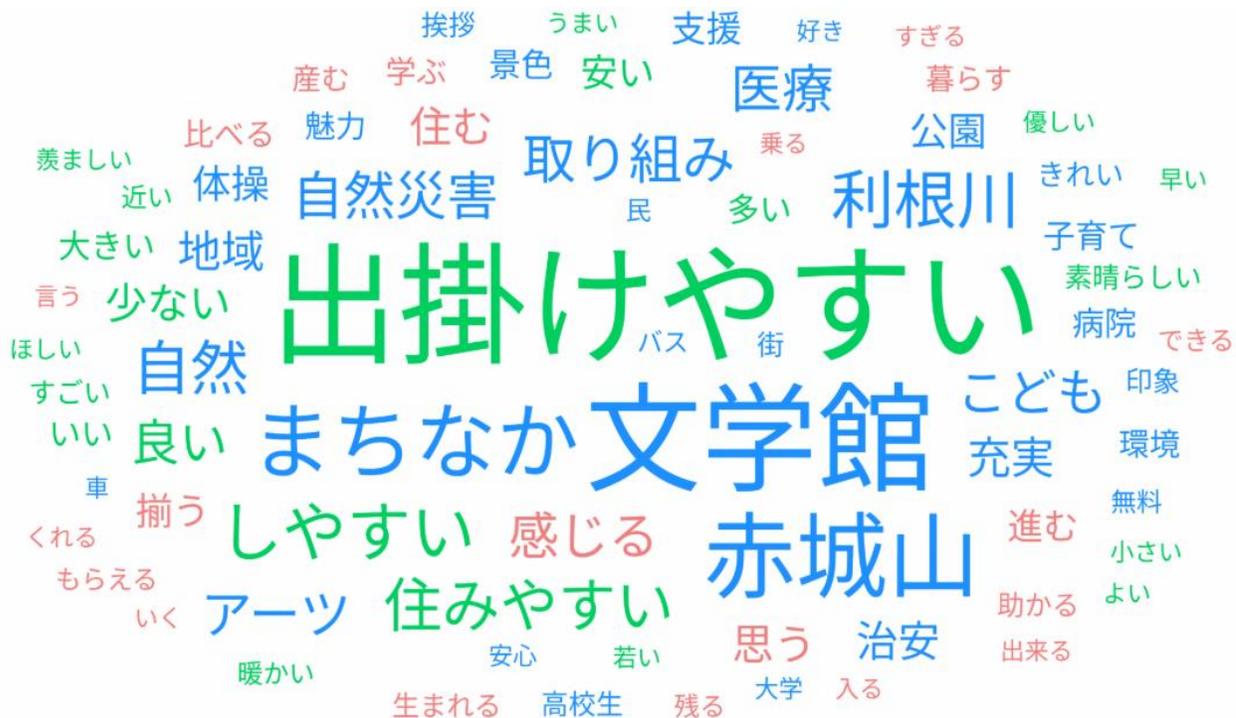
- ・インタビュー実施者：対象者54人の平均
- ・R7前橋市：令和7年度前橋市ウェルビーイングアンケート（2000人無作為抽出、回答数864）
- ・R7全国平均：令和7年度ウェルビーイング調査

・前橋市に対しては8：2の割合で全体的に好意的な印象だが、大満足という訳ではなく、これという不便や不満をそこまで感じていないという趣旨の理由や発言が多数。

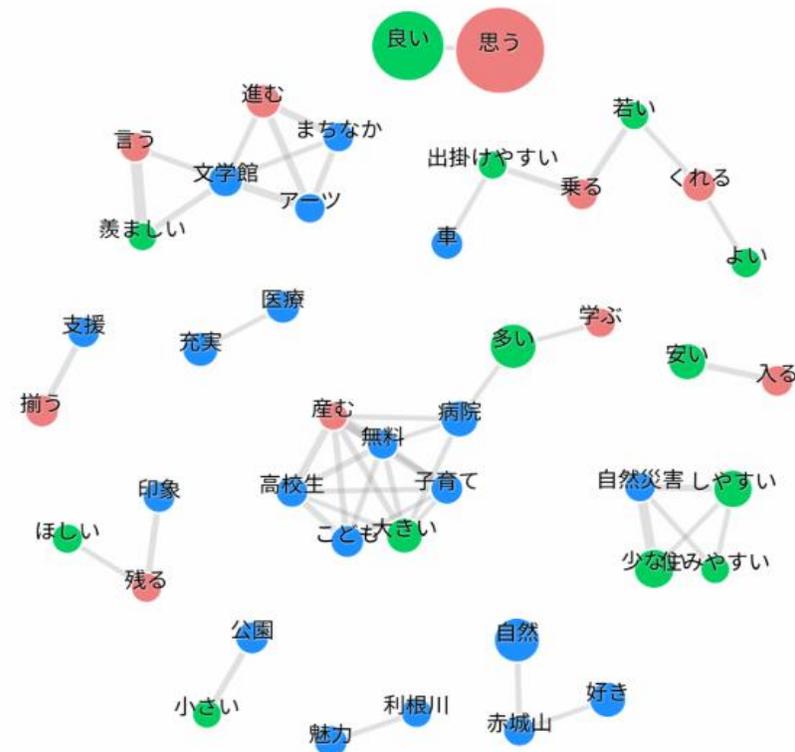
## 【個別ヒアリング】

### ● 前橋市の魅力

#### ワードマイニング (AI活用)



#### 共起マップ



スコアが高い順に単語を複数呼び出し、その値に応じた大きさで図示。  
青色=名詞、赤色=動詞、緑色=形容詞・形容動詞、灰色=感動詞

インタビュー時のコメントに出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図  
出現数が多い語ほど大きく、共起は程度の強い方から順に太い実践—細い実践—破線  
※共起=一文の中に単語のセットが同時に出現すること

- ・ 頻出した魅力的なワードは「出掛けやすい」。都心やレジャーなどへアクセスしやすい点を評価
- ・ 住みやすさや赤城山、自然災害の少なさなどは多くの方が共通して魅力として認識
- ・ 車があればすごく生活しやすい、住みやすいという発言多数







# 個別インタビュー分析レポート

テーマ	実施人数	分野設定 対象イメージ
① 雇用・所得／事業創造	11	本市で働くこと（雇用・起業など）に対する実態把握 全年代において幅広く聴取（雇用者、被雇用者、非正規など）
② 医療・福祉／健康状態	10	本市の強みである分野について理由などの実態把握 全年代において幅広く聴取、加えて医療福祉従事者を選定
③ 都市景観／自然景観 自然の恵み／環境共生／自然災害	8	都市部分と自然部分のバランスなどに対する実態把握 幅広い世代での聴取、自然保護に関わる方を選定
④ 事故・犯罪	8	ウェルビーイング調査で主観スコアが高く、客観スコアが最も低い 高校生や単身高齢者、実務者（経験者含む）を中心に選定
⑤ 文化芸術	5	ウェルビーイング調査で主観スコアが最も高く、客観スコアが低い 文化・芸術に関わっている、ゆかりのある方を選定
⑥ 教育機会の豊かさ／初等・中等 教育／住宅環境／子育て	12	教育、子育て施策の評価や検討のための実態把握 全年代において幅広く聴取（若者、保護者、教職員など）



# ①雇用・所得／事業創造

# ①雇用・所得／事業創造

	基本属性	好き嫌い	満足度	幸福度	総合計画	めぶく。	コメント抜粋
①	 男性 25歳 個人事業主（若手農家） 一人暮らし 前橋出身/樋越町在住	好き75点 嫌い25点	4	4	×	○	年間通して農業ができるのが前橋の強み。
②	 女性 23歳 公務員（若手市職員） 一人暮らし 前橋出身/大手町在住	好き80点 嫌い20点	8	8	○	○	住んでいるからこそいい街だと思う。
③	 女性 23歳 会社員（まちづくり会社社員） 一人暮らし 前橋出身/千代田町在住	好き70点 嫌い30点	8	7	×	○	中心市街地の今がおもしろい。発展に期待。
④	 男性 35歳 会社役員（継業のためUターン） パートナーと子供と同居 前橋出身/下小出町在住	好き75点 嫌い25点	7	7	×	○	首都圏からUターンで改めて前橋の便利さ感じた。
⑤	 女性 38歳 会社員（育休中 2児の母） パートナーと子供と同居 前橋出身/朝日が丘町在住	好き80点 嫌い20点	9	10	—	○	車があれば前橋はいいところ。
⑥	 男性 35歳 会社員（隣接市からの移住） パートナーと同居 伊勢崎市出身/駒形町在住	好き70点 嫌い30点	6	5	×	○	前橋市の素晴らしい取組をもっとPRして。
⑦	 女性 43歳 パート（小中学生の母） パートナーと子供と同居 前橋出身/市内在住	好き90点 嫌い10点	8	8	×	○	働きたいお母さんはたくさん。魅力的な求人をもっと。
⑧	 男性 49歳 会社役員（医療系の会社経営） パートナーと子供と同居 南町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	×	○	市民の関心事はこどもと老後だと思う。
⑨	 女性 60代 個人事業主（文化人） 前橋出身/市内在住	好き50点 嫌い50点	6	8	×	×	帰ってきたらさみしい前橋になっていた。再生を。
⑩	 男性 41歳 会社役員（車関係の会社経営） パートナーと子供と同居 前橋出身/鳥羽町在住	好き65点 嫌い35点	7	9	×	○	まちなかだけでなく郊外も。市全体の経済活性化。
⑪	 男性 78歳 個人事業主（中小企業診断士） パートナーと同居 前橋出身/古市町在住	好き90点 嫌い10点	8	8	×	○	時代に合わない計画は止める判断が必要。

## ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・ **バランスよく働くこと、仕事のやりがい**とか、意見を気軽に言える雰囲気働きやすさにつながる②
- ・ お店は開きやすい環境にある。補助金もある。同じ環境の人が多いとを感じる③
- ・ 前橋市で**商売する中で、外国人の働きたいという方が多い**ことがわかった。⑥
- ・ 行政が市をよくするために、行動したりつながりを作ったりしてくれているのはすごいと思う。その**情報を市民や地域へ伝えてほしい**。⑥
- ・ 職場を選ぶ理由は、有給日数と取りやすさ。⑦
- ・ **商売しやすい**。一方で支援制度や相談窓口などの宣伝、周知が足りないと思う。⑧
- ・ **商圈は広いし、経済圏もまあまあ広い。自然災害が少ないので、全方向で商売がしやすい**。企業誘致なり経済が動くので、働ける場所をたくさん作ることが重要だと思う。⑩
- ・ 前橋は**色々な種類の野菜が、同時期にあるのは前橋の強み**。①
- ・ 前橋の農業はPRして行ってもよい。「野菜がこんなに美味しいと思わなかった」という意見や、住みやすいということで定年後に前橋に住んでいる人も知っている。⑪

全体で見ると共通した魅力やらしさなどのイメージはないものの、**働きやすい企業風土が一部で育っている**。また、補助金、商圈の広さ、自然災害の少なさなど、**ビジネスリスクの低さ**が挙げられている。  
前橋農業は「種類の多さ」「おいしさ」が評価されており、**前橋農業のブランド価値向上の可能性**が伺える。

## ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・ 農家と加工業者で接点があったら面白いかなと感じる。消費者よりも企業にPRして欲しい①
- ・ 集落営農法人の担い手が圧倒的にいない。色んな農家の団体が集まって作った団体だが、一斉に高齢化している。①
- ・ 自分の思う選択肢をとれる環境があればいいと思う。産休・育休となったときに誰がフォローすれば良いのかなとは思う②
- ・ 少人数の会社なので育休が取れるか不安。そう考えるとずっと同じ会社には居れないかもしれない不安がある。③
- ・ 所得は低いかなと思う。今後の子育てを思うと悶々とする。ハローワークに行っても、どこも同じような条件ばかり⑤
- ・ 男性の育休は、長期間休むより、例えば小学校に上がるまで給料保証で毎日2時間早く帰ってきてほしい。⑤
- ・ 人がいないという会社はあるし、働いていきたい外国人も多いので、そのマッチングができればいい⑥
- ・ 正社員になってもいい、手取りも増えるのはわかる。パートの方が休み易いし働き易い、もう少し子どもが大きくなってから正社員と思う。⑦
- ・ クリエイティブな仕事が本当にないと思う。教育としてもクリエイティブな人材が育つように、小さいうちからあらゆる文化や人に触れられて、感受性を高めてあげられるようにしていくべきだと思う。⑨
- ・ 前橋に法人市民税が増えるような取組が必要だと感じる。企業誘致に力をいれるとか⑪

若い女性を中心に産休育休の取得のしやすさやなど、仕事と子育てとの両立の不安を抱えている。

また、全体的に給料が低い、魅力的な求人がないという意見や、企業誘致への注力を期待する声もあった。

**外国人雇用（マッチング）を含む雇用創出と所得向上を同時に進める政策が求められる。**

## ② 【医療・福祉／健康状態】

## ② 【医療・福祉／健康状態】

基本属性

好き嫌い

満足度

幸福度

総合計画 めぶく。

コメント抜粋

①		女性 33歳 会社員（薬品会社勤務） 一人暮らし 前橋出身/小相木町在住	好き100点 嫌い 0点	9	8	○	○	医療体制は充実しているが健康寿命を伸ばすのが前提
②		女性 38歳 会社員（介護士） パートナーと子供と同居 前橋出身/鼻毛石町在住	好き100点 嫌い 0点	9	10	×	○	地域のサロン、課題は移動手段
③		男性 46歳 団体職員（保育教育関係） 子供と同居 前橋出身/三俣町在住	好き90点 嫌い10点	8	8	×	○	保育の質と規模を適正化していくことが重要
④		女性 40歳 パート（薬剤師） パートナーと子供と同居 前橋出身/下増田町在住	好き80点 嫌い20点	7	8	○	○	まだまだ働く女性にとって子育ては難しい
⑤		男性 51歳 団体職員（大学教授） パートナーと子供と同居 太田市出身/総社町在住	好き75点 嫌い25点	9	9	○	○	前橋市はバランスが良い反面、エッジが効いていない。
⑥		女性 57歳 パート（嘱託員） 一人暮らし 奈良県出身/朝倉町在住	好き60点 嫌い40点	4	4	○	○	現役世代にとって地域活動とは別の集いの場が少ない
⑦		男性 60歳 会社員（定年後、詩人） パートナーと子供と同居 前橋出身/荒牧町在住	好き95点 嫌い 5点	10	10	—	○	詩の存在を前向きに受け入れる土壌。再開発期待
⑧		女性 60代 無職（元教員） その他 城東町在住	好き80点 嫌い20点	8	8	—	—	安心な水の提供（鉛製給水管の取り替え工事の推進）
⑨		女性 77歳 求職中（TM参加者） その他 前橋出身/市内在住	好き70点 嫌い30点	5	5	—	○	前橋は医療に魅力あるが介護支援は高崎市に負けてる。
⑩		女性 55歳 団体職員（介護福祉施設勤務） パートナーと子供と同居・下川淵地区在住	好き50点 嫌い50点	5	5	—	○	在宅での生活をバックアップする体制が不十分

### ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・ 祖母、親が眼科、整形外科等通っているが、**割と近所に病院が揃っている**。①
- ・ 地域のサロン（祖母が行く）とか良いと思う。体操教室の講師として呼んでもらったり**ピンシャン元気体操、すごく好き**で、デイサービスでもやっている②
- ・ 40歳を超えて、医者に行くことも増えたが、**満足いく治療ができている**③
- ・ 総合病院が県内で一番多い。クリニックも多いし、選択肢がある。④
- ・ **医療資源に恵まれている**、病院間の巡回バスもある。マイタクもある。総合的に100点。前橋は福祉医療給付の取り組みも早い。⑤
- ・ 介護予防活動はよくやっていると思う。ピンシャン元気体操の教材見てもよくできていると思う。大学と連携している点はとても良いと思う⑥
- ・ **介護保険も使っていたが、あまり困ったことはなかった**。⑦
- ・ 医療の魅力は男性の看護師も増えていたり、診療が短い。群大に入院したときは至れり尽くせりだった。⑨
- ・ 大きな病院が多い中で、若くて優秀で親身に相談に乗ってくれる医師が育っていると感じられる⑩
- ・ **介護と医療の連携が進んでいる**⑩

本市の充実した医療環境は市民の満足感や安心感へ直結しており、**医療機関へのアクセスの良さ**についても評価が高い。また、**介護予防活動をはじめとする健康づくりの取り組み**についても好印象。

今後、高齢化が進行する中、介護・（予防）医療・交通がセットの取り組みを推進することが効果的。

### ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・ 団塊の世代の方が後期高齢になったので、**どうやって若年層が高齢者を支えていけばよいのか**①
- ・ 生き生きサロンがあっても交通手段がない人がいるとこられないので、交通とセットで考えられると良い。②
- ・ 「保育の質と規模」大きくして効率化していく時代から、小さくして集団生活に適正化していく時代なのかなと感じる。③
- ・ 少子化高齢化の意味は、老人の数が増えるだけだと思っていたが、実は医療などの働き手が減る問題。④
- ・ 前橋独自を出すなら福利厚生面の充実。保育園が病院併設とか・出勤しやすいとか・どこに付加価値を付けていくか④
- ・ **医療福祉分野の高齢者の不安は公共交通とセット**だと思う。⑤
- ・ 私のような**ひとり暮らしの人への目配りが足りない**と思う⑥
- ・ 健康でいるためには（健康寿命）、食とコミュニケーション、人とのつながりが重要⑧
- ・ 叔母のデイケア通いを通じて、市役所の縦割り社会をすごく感じた。福祉に限らずではあるが。⑨
- ・ **在宅での生活をバックアップする体制が取られていない**ことを感じる。⑩

現役世代は、**超高齢化社会を支えることからくる負担増への不安を抱える**。介護が必要な本人だけでなく、周りの負担を軽減できるサービスがあればという意見も。移動交通、専門人材不足、独居高齢者支援、在宅生活支援といった「高齢社会の課題」を解決する**他部門との連動的な政策実行が必要とされている**。

### ③ 【都市景観/自然景観/自然の恵み/環境共生/自然災害】

### ③ 【都市景観/自然景観/自然の恵み/環境共生/自然災害】

基本属性

好き嫌い

満足度

幸福度

総合計画 めぶく。

コメント抜粋

①	 男性 16歳 高校生1年生 親と同居 前橋出身/上泉町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	○	○	SNSを活用した情報発信を強化してほしい
②	 男性 25歳 公務員（市土木技師） 親と同居 前橋出身/川曲町在住	好き60点 嫌い40点	6	9	○	○	前橋駅から県庁間の整備に期待
③	 男性 51歳 会社員（環境関連会社勤務） 親と同居 千葉県出身/富士見町在住	好き70点 嫌い30点	7	5	○	○	赤城山の裾のがきれい。保全活動にも目を向けないと
④	 女性 44歳 会社員（森林保全に従事） 一人暮らし 浦和市出身/粕川町在住	好き60点 嫌い40点	7	6	○	○	人口減少により自然環境の維持に危機感を感じてほしい。
⑤	 男性 55歳 会社員（TM参加者） パートナーと子供と同居 桐生市出身/表町在住	好き100点 嫌い 0点	10	10	○	○	適度に都会で適度に田舎。利根川沿いのサイクリングロードも魅力。
⑥	 男性 61歳 会社役員（間伐ボランティア） パートナーと同居 前橋出身/総社町在住	好き70点 嫌い30点	8	6	○	○	幼いころからみてきた、川、河原、山という景色が自分にとって前橋
⑦	 女性 76歳 主婦 子供と同居 横手町在住	好き78点 嫌い22点	9	9	○	○	行政としてしっかりルールを伝えて、指導して行くことが重要
⑧	 女性 61歳 会社員（自治会関係者） 子供と同居 前橋出身/嶺町在住	好き80点 嫌い20点	9	9	×	○	自然の中でゆっくり生活できる環境があることは良い。仕事をやめたら畑仕事をやりたい

### ③【都市景観/自然景観/自然の恵み/環境共生/自然災害】

#### ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・赤城山は自然もあるしとてもキレイ。るなばあくは臨江閣と一緒に整っているのずっと残っていてほしい①
- ・前橋駅から県庁の整備に伴い、臨江閣などが映えればいいと思う。あまり自慢できる景観はないが広瀬川はきれいだと思う。②
- ・自然景観や環境の目線で赤城山の裾野がきれい。春の楽しみとして赤城南麓の桜がきれいだと思う。③
- ・地方都市感がいい。川も山もあり、他の都市と比べて景色がいいと思う④
- ・街の真ん中に利根川が流れていること、遠くに見える赤城山も良いが、街をドライブしているだけでも緑が本当に多い。これがすごく良い。⑤
- ・自然災害が少なくとても安心。⑤
- ・クリエイティブシティ構想はすごく良いと思う。夢もある。ぜひやってみて欲しい⑤
- ・幼いころからみてきた、川、河原、山という景色が自分にとって前橋だというイメージ。⑥
- ・毎日の暮らしの中に自然、水田があったりすることから、季節を感じられて良い⑦
- ・スローシティを推進していることは凄く良いと思っている。キャンプ場もできるし赤城山周辺に動きがあるので期待している。⑧
- ・農産物直売所がたくさんあるところもとても良い。⑧

赤城山、利根川、広瀬川、水田など、身近にある自然を前橋らしい景観として認識し、好意的に感じている。また自然が豊かでありながら大きな自然災害が少ないことが市民の安心材料として高く評価されている。近年推進してきているスローシティ、クリエイティブシティ構想等の取り組みへの受容も◎。

### ③【都市景観/自然景観/自然の恵み/環境共生/自然災害】

#### ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・ イベントで街中に人がくればいいなと思うし、周知が課題だと思う。②
- ・ **森林伐採が少なくなっているように感じる**。林業が儲からないことが理由だと思う。③
- ・ 赤城山の再開発も大事だけど、バランス良く **赤城山の保全活動にも目を向けて行かなければ**と思う。③
- ・ 森林の環境保全維持をしていると、自然との共生が危ういと感じている。鹿の被害（ヒルとマダニ）が激増して、森林の景観が変わっている。早期に赤城山も考えないといけない④
- ・ 計画の中で環境保全とあるが、森をみんなで維持するか、農地、耕作放棄をいかに減らすか。 **人口が減る中で自然をどう維持していくか**をみんなで考えてほしい。焦点をあてて普通の市民が自然に関わる仕組みを考えてほしい。危機感を共有してほしい。④
- ・ サイクリングロード整備はされているが、結構草ボーボーでサイクリストに人気が出るのにもったいない⑤
- ・ **都市景観を維持、統一するためにガイドライン、ルール化する必要がある**と思う。
- ・ 「行政としてしっかりルールを伝えて、指導してくことが重要」⑦
- ・ **道路の草が多く通行の妨げになる**くらいの時があるのできれいに管理されると良いと思う⑧

道路や公園など身近なインフラの維持管理が追いついていないという評価。またガイドラインやルール不足を課題と捉えている意見もある。赤城山の再開発への期待もある一方、森林や里山の管理、自然との共生への危機意識があり、**自然維持のために、保全に市民が関われるきっかけや仕組みづくり**が効果的か。

## ④ 【事故・犯罪】

## ④ 【事故・犯罪】

基本属性

好き嫌い

満足度

幸福度

総合計画 めぶく。

コメント抜粋

①	 男性 29歳 公務員（市職員 元警察官） 親と同居 前橋出身/朝倉町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	○	○	車社会のため事故も多い。旗振りの人に子どもの安心感につながる。
②	 女性 16歳 高校2年生 親と同居 前橋出身/南町在住	好き100点 嫌い 0点	10	10	×	○	学校からの帰り道は、街灯が少なくて怖いと感じる時がある。
③	 男性 49歳 会社役員 パートナーと子と同居 前橋出身/堀之下町在住	好き80点 嫌い20点	8	7	×	○	犯罪は少ないが、事故は多いと思う。街灯が少ない。
④	 女性 27歳 公務員（消防士） パートナーと同居 みどり市出身/天川大島町在住	好き80点 嫌い20点	8	9	○	○	物価高、働く女性が子育てしやすい環境があれば。
⑤	 女性 37歳 公務員 パートナーと子と同居 前橋出身/市内在住	好き100点 嫌い 0点	8	9	○	○	祖母の医療介護を親が担っている。通院など。それを見て、「時代を作ってくれた上の世代が住みやすいまちであってほしい」
⑥	 男性 60歳 公務員（警察職員） 親と同居 東京都出身/駒形町在住	好き90点 嫌い10点	9	8	—	—	前橋市は地価が安い、災害が少ない。住みやすい。
⑦	 女性 73歳 団体職員（こども関係） 一人暮らし 新潟県出身/桂萱地区在住	好き70点 嫌い30点	7	8	—	○	そろそろ免許返納を考える頃だが、公共交通が不満。
⑧	 男性 78歳 会社役員/団体職員（元警察官） パートナーと同居 大利根町在住	好き80点 嫌い20点	9	9	—	○	色んな職業の人が地域に住んでいて、人の役に立ちたいと思っている人がまだまだいる。

### ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・前橋市は**地域住民のちからを借りながら防犯**出来ていていいと思う。①
- ・パトカーなどの巡回があると安心して暮らせる。②
- ・駐車場は広いところが多いので、そこは良いところだと思う。③
- ・青少推の活動を行うなかで、**地域で守ろうという意識が強い人が多い**と感じた。（何十年も活動をしている人が大勢いる。）  
⇒引退しても、単独のイベントには顔を出してくれる人もいる。③
- ・救急が早い④
- ・救命講習の普及にはかなり力を入れている。⑤
- ・**救命講習の募集をすると満員になる。毎月定員までいく。市民の皆さんの意識の高さが現れているのかと感じる**⑤
- ・災害に強いというのは大きいと思う。⑥
- ・**前橋は、安全な地域。**⑧

全体で見ると課題へのコメントは多く、初めに車両事故や交通面を想起する人が多かったが、それでも肯定的な意見（潜在意識）を持つ方も多くいた。

**地域の人とのつながりの近さや、相互互助の防犯まちづくりなど意識の高さ**に対するコメントも多かった。

### ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・ 車が多い、事故も多いと感じる。①
- ・ 防犯カメラがもう少しあると嬉しい。②
- ・ 犯罪は少ないが、事故は多いと思う。街灯が少ない。③
- ・ 情報をもっと早めに共有できる仕組みがあると良い。③
- ・ ラインなど、情報共有をタイムリーに行える手段、警察に連絡できる手段があると良い。③
- ・ 交通事故が多い。⑤
- ・ 前橋市では自転車事故が多い。⑥
- ・ 外国人住民が多い。会話しないとわからないが、歩み寄れるところがあると思う⑥
- ・ 去年くらいから、空き家に空き巣が入るとい事件が地域内で発生している⑧

防犯より車両事故（交通安全）や日常のリスク管理への関心が高く、関連する「公共交通」についてまでネガティブイメージが及んでいる様子。地域の外国人に対して不安視する発言も一部みられ、日頃からの地域内コミュニケーションの充実を図ること、素早い情報共有体制を構築する必要性あり。

## ⑤ 【文化芸術】

# ⑤ 【文化芸術】

基本属性

好き嫌い

満足度

幸福度

総合計画 めぶく。

コメント抜粋

①		男性 34歳 公務員（小学校教諭 演劇団体所属） パートナーと子供と同居 那須塩原市出身/朝倉町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	○	○	鑑賞とか上演ではなくて、地域の方が参加する体験する仕組みがあるといい
②		男性 40歳 団体職員（ギャラリー運営 非営利団体） パートナーと同居 藤岡市出身/表町在住	好き100点 嫌い 0点	10	10	×	○	アートの間口を広げ、地元にも良い芸術家がいるんだよというのを広げていきたい。
③		男性 51歳 個人事業主（デザイナー） パートナーと子供と同居 前橋出身/西片貝町在住	好き80点 嫌い20点	8	7	×	○	まちなかは今成長している最中。それが体験できる。
④		男性 67歳 個人事業主（市民学芸員） パートナーと同居 茨城県出身/大友町在住	好き80点 嫌い20点	8	9	○	○	地元志向も強すぎる、いいもの呼んだほうがいい。
⑤		女性 64歳 個人事業主（ピアノ講師） パートナーと同居 前橋出身/駒形町在住	好き100点 嫌い 0点	8	9	○	○	もっと竹刀が前橋市にルーツがあることをPRしてもいいと思う。

### ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・ アーツと文学館中心に**まちなかのアートの展開**は10年かなり進んできている①
- ・ 公民館安価で団体登録しやすい。カウンスル助成も始まった。支援は揃ってきた①
- ・ **前橋国際芸術祭**（前橋ビエンナーレ）の開催をととても楽しみにしている。②
- ・ 前橋市はオタクで有名。ゲーム好きの方の聖地になれるのではないか②
- ・ めぶく。のコピーを中心に、**前橋については、「何かが起こるんだろうな」という感じ**を受ける。③
- ・ 今、成長している最中。それが体験できる町。③
- ・ 割とうまくできているという印象。アーツ前橋もあるし、文学館もある、太陽の鐘もそうだし、**市民の身近にあるのが良い**と思う。③
- ・ **文学館の交流イベント**がとてもいい。文学館ってどこも地味だけど、前橋市のやっているイベントはすごくいい。④
- ・ **新陰流の大元は前橋市。自分含めて道場メンバーも誇りを持っている**、前橋のいいところ⑤

全体で見るとアーツ前橋や文学館を中心として、ここ10年程度かけて**蓄積されてきた「まちなかアート」**が浸透してきた部分は高評価。特に**文化施設が身近にあることが良い点**とされている。また、**伝統文化から現代文化まで幅広い資源**があるのも魅力。芸術祭開催やアニメ聖地として更なる盛り上がりも期待できる。

### ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・ アーツ前橋はプロのビジュアル芸術なので、鑑賞機会にはなるが。**市民にアートの機会を提供する機能が弱い。**①
- ・ **地域の人材をうまく活用して**、仕組みが作れるといいのではないか。鑑賞とか上演ではなくて参加する体験する。①
- ・ 市民ギャラリーがあれば、市民は誰でも個展が開ける。②
- ・ コラボに参加したい人が多くいるのに参加出来ないという声を聴く。**間口を広げてほしい。**②
- ・ **新しい文化に反対する人、よく思わない人がいるのはしかたない。**数年後にたどり着く景色に対して、手のひら返してくれたら成功。くらいな気持ちでやるのが大事だと思う。
- ・ 全体的に文化振興にかかる予算が少ないと思う。そのせいか非常に地味。④
- ・ 地元思考が強すぎる。良いモノ、人を呼んだ方が良い。④
- ・ **次の世代がワクワクする内容に**しないといけない。40代、50代が納得するものではなく若い人のために。④
- ・ もっと竹刀が前橋市にルーツがあることをPRしてもいいとおもう⑤

市民がアート・文化を鑑賞するだけでなく「**参加する文化**」の**需要**がある。市内で文化活動を担う人材を活かしきれていないという仕組み不足を感じられており、**市民参加・人材活用の間口が狭い**点が指摘されている。一方で、文化振興にかかる予算の少なさや一流アーティスト招聘に対する要望も見られる。

## ⑥ 【教育機会の豊かさ/初等・中等教育/住宅環境/子育て】

## ⑥【教育機会の豊かさ/初等・中等教育/住宅環境/子育て】

	基本属性	好き嫌い	満足度	幸福度	総合計画	めぶく。	コメント抜粋
①	 男性 27歳 会社員（社会福祉士） パートナーと同居 前橋出身/北代田町在住	好き100点 嫌い 0点	10	10	○	○	こどもたちが暮らしやすい住みたいと思える街になることを自分事として考えていきたい。
②	 男性 29歳 会社員（育休中パパ） パートナーと子供と同居 千葉県出身/本町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	×	○	前橋の暮らしが好き。まちなか、今住んでいるところのコミュニティが好き。
③	 女性 30歳 会社員/会社役員（移住者） 一人暮らし 高知県出身/千代田町在住	好き90点 嫌い10点	9	10	○	○	教育委員会（特に中高生）と基幹産業との結び付きが弱い。
④	 女性 31歳 個人事業主 親と同居 前橋出身/市内在住	好き90点 嫌い10点	6	10	○	○	暮らしをイメージできるリアルな情報がほしい、こういう生活ができますよとか
⑤	 男性 36歳 会社員（移住者） パートナーと子供と同居 愛知県出身/文京町在住	好き70点 嫌い30点	7	7	—	—	男性育休の取りやすさもアピールできれば子育てにももう少し前向きになれるかも
⑥	 女性 47歳 会社員（4児の母） パートナーと子供と同居 伊勢崎市出身/市内在住	好き80点 嫌い20点	8	8	○	○	学校教育に力を入れてほしい。（発達に関する理解を深めてもらいたい）
⑦	 男性 43歳 会社役員（観光業経営） パートナーと子供と同居 前橋出身/富士見町在住	好き50点 嫌い50点	7	8	×	×	前橋市民が赤城の観光大使のように宣伝をできるようにプロモーションをしてほしい。
⑧	 女性 52歳 公務員（小学校教諭） パートナーと子供と同居 前橋出身/上新田町在住	好き80点 嫌い20点	9	9	—	○	教員の人数が不足している。もっと多ければ、こどもと一緒に楽しめる時間が取れるようになる。
⑨	 男性 55歳 公務員（県教育委員会） 子供と同居 前橋出身/高井町在住	好き80点 嫌い20点	8	5	×	○	若者におらが町を実感できるまちづくりを進めてほしい。
⑩	 男性 66歳 個人事業主（学習塾経営） パートナーと子供と同居 前橋出身/荒子町在住	好き80点 嫌い20点	8	8	—	—	学校の先生がサラリーマン化している。先生がこどもに向き合ってほしい。
⑪	 男性 72歳 パート（スクールサポーター児童クラブ指導員） パートナーと子供と同居 山形県出身/市内在住	好き80点 嫌い20点	8	8	×	○	言語系の教育のほかに、非言語系の教育も重要。
⑫	 女性 60歳 公務員（元保育所長） 親と同居 愛知県出身/北代田町在住	好き80点 嫌い20点	8	8	○	○	生まれる前から、成長するまで一貫して切れることなくサポートが必要だと感じている。

## ⑥【教育機会の豊かさ/初等・中等教育/住宅環境/子育て】

### ■ 魅力・らしさ・できている点（抜粋）

- ・ **こども基本条例策定のプロセスは魅力**。こどもが生まれて高校生になったら携わってくれたら親目線で誇り。①
- ・ 親の教育方針や教育指導要領が、今の時代の教育環境とあっていない。②
- ・ 子育てでは**あまり課題に思うことはない**かも。②
- ・ 上の子どもときより、下の子どもの時の方が、「発達障害に関する理解が広まっていると感じる。（学校側の配慮も強くなっている。）」⑥
- ・ **子どもが育てやすい環境**が整っているから⑥
- ・ こどもを産む時（病院がしっかりある）、子育て系のイベント、民生委員による自宅訪問（1人ならない）などありがたい。⑧
- ・ **高校生までの医療費無料**（⇒これが一番大きい）⑧
- ・ 前橋は他の市町村に比べて学校現場の仕事量は少ない方。（渋川・伊勢崎・前橋を経験）⇒無駄な仕事が少ない。
- ・ 前橋市は特別支援への対策が手厚いと感じている。⑧
- ・ 学校帰りに児童館に寄って帰れるのが素晴らしい。もっとたくさんあってもよい。⑫

全体的にポジティブな印象がありつつ、特にこども基本条例の策定プロセスなど**こどもを大切に**する姿勢は**高評価**。出産時の医療体制、出産後の戸別訪問など**孤立させない仕組み**は**市民の安心感へ寄与**している。一方、**教育環境に対する、他地域と差別化された強みや魅力を感じている市民は少ない様子**。

## ⑥【教育機会の豊かさ/初等・中等教育/住宅環境/子育て】

### ■ 課題や改善点（抜粋）

- ・背景や考え方の違う中で、一斉に義務教育が始まって**個性のばらつきに対応していけるのか**という心配はある。⑤
- ・放課後等デイで負担する額は基本1割であるが、世帯年収によって上限額（4,600円の次は37,200円）が大きく異なる。中間が欲しい⑥
- ・特別支援（通級指導教室）に対応できる教員が、各校に専属で1人いるとありがたい⑥
- ・**小学校の体育館にエアコンがない**のが、気になる。⑥
- ・全家庭での給食費の無償化ではなく、**質をあげ食育を意識していただけるとありがたい**。⑥
- ・「学校の先生には勉強に専念してもらい、部活に時間を割かれるというのはやめてほしい。⑦
- ・教員の人数が不足している。休み時間に子どもと一緒に遊ぶこともできない⑧
- ・もっと、**子どもの自主性を尊重**したり、話を聞いたりして気づいてあげる必要がある。⑨
- ・個別指導に通う子どもには、実際発達障害の子どもが多い。学校で言われるのが嫌なので、塾に言ってくる。⑩
- ・言語系の教育のほかに、**非言語系の教育も重要**。⑪
- ・教育（特に中高生）と基幹産業との結び付きが弱い。（学び直しとかも含めると全年齢層で弱い）③
- ・高校受験するとき**選択肢が限られていた**。学校のカラーや特色で色々高校を選べる都市もある④

全体的に不満でもないが満足してもいないという趣旨のコメントが多くみられた。保護者が現場に対し、**子どもの個性や特性に対応しきれるのかと不安視している**。また、体育館の空調整備、教員や支援スタッフの充実、給食の質向上など、**子ども達を中心とした学校環境や教育の質の改善ニーズ**が確認できる。

# グループインタビュー分析レポート

テーマ	グループ	実施人数	対象イメージ
共生社会 (多様性と寛容性)	① 障害者	5	当事者、中立な立場で関わっている方（施設職員）、ご家族など
	② 外国人	4	外国籍の方、多言語窓口職員など
	③ 不登校	5	不登校児童、生徒保護者、フリースクール職員、支援員
若者・子ども	④ 若者	6	若者（市内大学生、社会人3年目未満など）
	⑤ 高校生	6	市立前橋高校生徒（生徒会メンバー）
	⑥ 中学生※	5	小中学校教職員 ※授業や部活の都合上、中学生本人の実施が困難だったため、小中学校教員を選定

# 共生社会（多様性と寛容性）

## グループ① 障害者



# グループ① 障害者（属性サマリ）

障害当事者やその家族も、**経済面や余暇時間の自由度など、生活しづらさは度々感じているが、「障害の有無による境界や区別」がなくなり、社会参加しやすくなるよう、そしてお互いの特徴や違いを認め合っていけるような社会になる働きかけや理解が進むよう望んでいる。**

	属性	好き嫌い	満足度	幸福度	コメント抜粋
A	 男性 50代 身体障害（脳性麻痺による下肢障害） 一人暮らし 前橋在住 当事者	好き80点 嫌い20点	80点	80点	両親が他界後、バリアフリーでない実家では車椅子生活が難しく、ヘルパーを利用しながら一人暮らし。自家用車を運転して外出。休日は映画などを見て余暇を楽しんでいる。
B	 男性 30代 就労移行支援事業所利用後、一般就労 身体障害（人工透析） 親族と同居 前橋在住 当事者	好き50点 嫌い50点	50点	70点	満足はしているが寂しく感じる。もう少し障害者に優しく。今も治療は継続しながら働いている（月水金は透析治療）。
C	 男性 40代 知的障害の親族がいる パートナーと子どもも 前橋在勤 支援員	好き80点 嫌い20点	70点	70点	福祉サービスについて資源が多いと思う（福祉事業所も多い）が、人材不足によりヘルパー利用ニーズに対応しきれていないので、外出等でもっと余暇を楽しめるようになるといいなと思う。
D	 女性 60代 知的障害者の母 グループホーム利用により別居 前橋在住 親	好き80点 嫌い20点	80点	100点	今まで多くのピンチはあったが色々な人が助けてくれた。娘は土日も帰省せず、グループホームで仲間と楽しく過ごしている。
E	 女性 60代 知的障害者の母 同居 前橋在住 親	好き85点 嫌い15点	90点	90点	本人は働くプレッシャーがなくなって精神的に落ち着いた。不満は特に持っていない。

# グループ① 障害者

## ◆多様性や寛容性という言葉に感じる印象



- ・障害のある人もない人も普通に暮らせたら良いなと思った。
- ・トイレも男性女性どちらでも入って良いトイレがあるとかが良い。
- ・そういう言葉が必要ないくらいになって暮らせるのが大事。
- ・みんなの心がフラットになるにはどうしたらいいんだろう。
- ・思いやり駐車場の数がとにかく少なくて困る。



身の回りで実現されている実感は薄い。  
障害の有無に関わらず「心身共にフラットな状態」を実現する方法を検討すべきか。  
駐車場増枠と駐車マナーの喚起も要検討。

## ◆やってみたいこと、逆にハードルを感じること



- ・一人暮らしとかしてみたいけど金銭的にできない。
- ・外出するとなると人の支援が必要。余暇時間が自由に使えると良い。
- ・好きな時に友達に会ったり話したいけど意外とできない。  
それが一番寂しいかもしれない。
- ・誰かが見守ってくれて誰かに会える場所が欲しい。



特別支援学校などへ通う関係上、地域内の友人関係の構築が困難な状況。  
社会人になると余暇時間の充実に対する意欲が高まるも、様々なハードルが存在。  
気軽に出会える「居場所」の設計は要検討。

## ◆働くことへの意欲やモチベーション、心配事など



- ・働きたい理由は金銭面と充実感（一般就労という気持ち）
- ・家族以外の仲間ができたり、社会参加する意味で働く場所は大事。
- ・福祉サービスで色んな仕事をしているが、収益をあげるのが難しい。



- ・障害者年金も工賃も昔より増えたけど、それでも足りない。
- ・親がサポートできるうちは良いけど、本人の負担だけとなると不安。



意欲はあるが、実際の収入と生活の自立という面では大きな壁があり、賃金問題の改善と継続的な就労支援が課題となっている。  
障害者人材の確保に繋がる取り組みや、相談体制の充実・強化が求められる。

# 共生社会（多様性と寛容性）

## グループ② 外国人





# グループ② 外国人（属性サマリ）

前橋市を「選択して来日している」方はいないものの、自然景観の良さ、暮らしやすさなどで印象はポジティブ。日本人に対して特別視はしていない。立場上もあるが「言語が異なる方を助きたい」「自分の理想の暮らしを実現したい」というモチベーションが高い。コミュニケーション力の高さに比例してか、生活満足度も高い。

	属性	好き嫌い	満足度	幸福度	コメント抜粋
A	 男性 23歳 前橋市CIR JETプログラムを機に前橋へ（1年目） 一人暮らし アメリカ出身/前橋在住	-	95点	-	○自然がとてもきれい、広瀬川沿いの通りはいつも感動する。 前橋ってどこ？と思ったが、来たら好きになった。
B	 女性 60代 通訳員 ブラジルで結婚し配偶者の地元群馬へ 一人暮らし ブラジル在住歴有り	-	100点	-	○日本人はちゃんとして間違いがない。 ×いざ日本に来てみたら暴言とか言う人もいる。高齢の方。
C	 男性 56歳 自営 パートナーと子供 中国出身/前橋在住	-	99点	-	○子どもも日本で生まれたのでずっと居ようと思っている。 ×暮らしの手続きは難しい。英語ができれば良いが助けが必要。
D	 女性 40代 団体職員 JETプログラムを機に来日 一人暮らし イタリア出身/前橋在住	-	95点	-	○前橋の人も今の仕事も好き。同僚との関係も良い。 ×日本人は「他人との違い」に興味があると思う。

# グループ② 外国人

## ◆感じているギャップ・魅力と課題



- ・ 広瀬川沿いきれいで感動する。日本は公共空間が静か。
- ・ 治安が良い。夜歩いても恐さを感じない。
- ・ アウトドアスポーツが好きな人にぴったり。  
ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど
- ・ 観光客が少なく落ち着いてる。市民が家族で楽しめるまち。



暮らしの中に自然が溢れていて、静かで安全なまちという部分は外国の方々にとっても魅力的。観光目的ではなく「定住候補地」としてのアプローチも効果的か。



- ・ 服装や格好に対する感覚が違う。  
小学校でも全員同じ服装で全員で同じことをやる。
- ・ 医療機関について、日本では自分で調べて行く必要がある。  
最初どこに行けばよいかわからない（ホームドクター制度）
- ・ たくさん公園があるけど使っていない。



日本の画一主義的な文化に違和感あり。医療機関が多いことは強みでもありつつ、外国の方々は最初の情報取得経路（案内）がつまづきポイントとなっている。

## ◆前橋で「多文化共生」はうまくいっていると思うか



- ・ 日本語ができる外国人は困らない。
- ・ ただ人間として接すればいい、気が合えばいい。
- ・ 外国人は仕事があれば満足しやすい。



現状「条件付きで」共生ができている状態。イベント対象も外国人に絞るより、共通テーマに国籍に関わらず参加できるようなアプローチが、共生を進める上で効果的か。



- ・ 掃除など手伝いたく自治会に協力しようかと思ったが、  
どうやって連絡すればいいかわからなくて諦めた。
- ・ 母国には会社や学校や観光場所には必ず通訳のシステムがあるが日本にはない。
- ・ 日本人は共有より違うところに興味があったり注目する。



既存事業や市民活動、各種案内や自治会の入会などのアクセスのハードルを下げる工夫がされた「多言語対応の広報」へ。

# 共生社会（多様性と寛容性）

## グループ③ 不登校



# グループ③ 不登校（属性サマリ）

当事者であるこども（不登校児童）は学校そのものや登校へのハードルを感じて「行かない選択」をしているが、**学校には多くの機会や資源があるという認識は持っている**。また、保護者の生活や心情にも大きな影響がある。特に序盤、**相談先や連携先・フリースクールの情報を個人入手する必要があり、大きな負担となっていた**。

	属性	好き嫌い	満足度	幸福度	コメント抜粋
A	 男性 中学生 学校は行かない フリースクール 親と同居 前橋出身/在住 当事者	—	—	—	普段は猫と遊んだり、フリースクールに行ったりしている。学校は多様性と言っている割に寛容でないのかなと思う。
B	 女性 中学生 時々通学 フリースクール 親と同居 前橋出身/在住 当事者	—	—	—	支援教室なら、ゆるい感じで教えてもらえるから安心。2～3時間目から行って、給食食べられる日は食べて帰る。
C	 女性 40代 保護者 子供と同居 高崎出身/前橋在住 親	好き30点 嫌い70点	50点	50点	フリースクール、学校の支援もいくつか行ったが、全然寄り添ってくれない感じ。どうすればいいかわからない。
D	 女性 40代 保護者 子供と同居 前橋出身/在住 親	好き70点 嫌い30点	45点	50点	給食費無料とか色々あるけど学校行ってない子のことももっと考えて欲しい。子の不登校で自分がパニック障害になった。
E	 女性 30代 フリースクール職員 パートナーと子供 玉村出身/前橋在住 職員	—	—	—	フリースクールのことを学校にももっと理解して欲しい。学校との連携・情報共有にハードルを感じる。

# グループ③ 不登校（子ども）

## ◆フリースクールで過ごす時間・学校という存在

- ・フリースクールは遊ぶ場所、学校は勉強する場所。
- ・学校でしか出来ないこともあると思う。
- ・できるなら（授業にも）参加したい。
- ・給食が楽しみ。



- ・学校は大事だと思うけど、学校自体が嫌い。
- ・いい先生もいるけど、ひどい先生もいる。意味わからない説教をするなど。話が矛盾していたりして一気に冷めた。



## ◆不登校という言葉への印象

- ・言葉自体は別にどうでも良いが、悪いことのように言われるのは嫌だと思う。
- ・言われて気持ちよくはない。
- ・ただ（不登校は）自分の選択だから甘んじて受け入れる。



## ◆誰と多くコミュニケーションをとるか

- ・家族
- ・学校の先生
- ・友達
- ・フリースクールのみんな
- ・ネットで知り合った友達（中高生や大人も）



## ◆自分らしく居られる場所とは

- ・どの自分が本当かわからないから、強いて言えば家。
- ・自分というのがよくわかってなくて、ここ（フリースクール）が居心地がいいからここなら自分でいられるんだろうと思う。



# グループ③ 不登校（保護者）

※結婚から現在までの率直の気持ちの変化と併せてヒアリング

## ◆実際に取った行動や気持ちの変化

- ・子と二人でいると息が詰まるので、離れる時間を作ろうと思った。
- ・両親と夫には相談した。
- ・行政に相談はあまりしなかった。
- ・学校の先生への相談や、支援施設も多数あるが登録大変で使いにくい。
- ・親身になってくれてる感じがしない。
- ・学校に無理に行かせるのも難しい。
- ・起業は、子どものことをする時間が欲しかったから（仕方なく）。

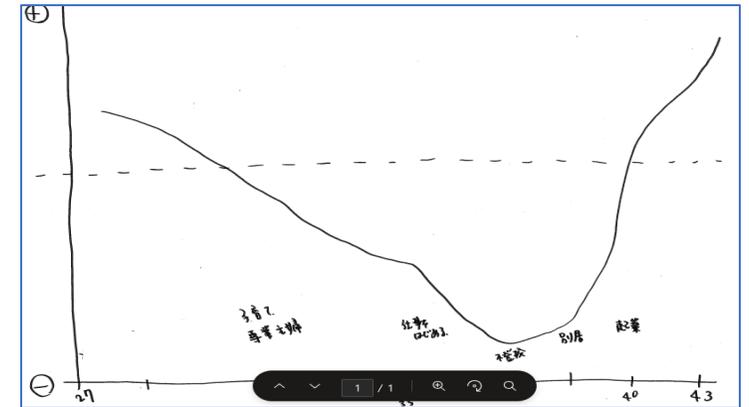
## ◆今後の将来像やイメージ、心配ごと

- ・引きこもりになるかも、という心配。  
自立して生きてくれたらと思う。それによって私の今後が変わる。
- ・一緒に住まなきゃとも思う。
- ・返ってくる場所だけは作ってあげたい。

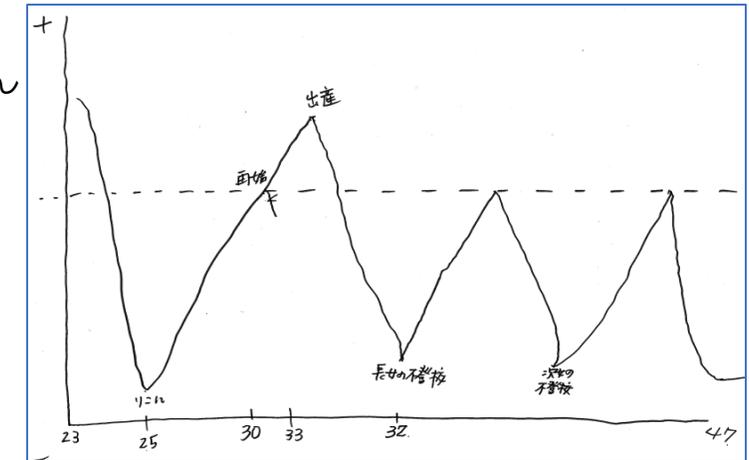
## ◆行政や学校に求めること

- ・不登校が普通になってほしい。
- ・義務教育を受けられていない感覚。  
オンラインで授業を覗くことができれば学校にも復帰しやすいと思う。
- ・タブレットもあるのだから不登校用の教育課程つくってほしい。

Cさん



Dさん



子の不登校は親もどうしたら良いかわからない。  
有事に気軽に相談できる学内外の専門家や居場所、  
その情報へのスムーズな認知経路拡大が課題。

若者・子ども

## グループ④ 若者





# グループ④ 若者（属性サマリ）

前橋市への**肯定的なイメージが多数**を占める一方、**交通や気候面へのマイナスイメージも共通認識**となっている。  
他地域での暮らしを経験している人には、**前橋や地域の人**が持つ「ゆとり」「あたたかさ」が**魅力**となっている。

	属性	好き嫌い	満足度	幸福度	コメント抜粋
A	 学生 男性 22歳 大学4年 実家暮らし 前橋出身/在住	好き85点 嫌い15点	80点	100点	○前橋まちなかは掘り下げると面白いものが多い。 ×郊外は少し寂しい。駅から大学までの公共交通が悪い。
B	 学生 女性 22歳 大学4年 実家暮らし 伊勢崎出身/在住	好き90点 嫌い10点	80点	80点	○伊勢崎と比べて前橋はあたたかく感じる。 ×通学時、渋滞で時間通りに移動できないのがマイナス。
C	 学生 男性 24歳 大学院2年 一人暮らし 神奈川出身/前橋在住	好き80点 嫌い20点	80点	90点	×神奈川に比べると冬の風が強すぎる。 ×移動が不便。車がないと買い物なども困る。
D	 社会人 女性 23歳 社会人1年目（金融窓口） 実家暮らし 前橋出身/在住	好き80点 嫌い20点	80点	80点	×富士見は駅が近くでない。移動は車が必須で将来心配。 ×駅とまちなかに距離があることもちょっと不満。
E	 社会人 男性 23歳 社会人2年目（行政/事務） 実家暮らし 前橋出身/在住	好き80点 嫌い20点	85点	75点	○前橋は縛りが無い感じがしてのびのび。活動しやすい。 ×危険な道路がある。飲み会帰りのバスがない。
F	 社会人 女性 25歳 社会人3年目（営業職） 一人暮らし 茨城出身/前橋在住	好き100点 嫌い0点	100点	100点	○嫌いなところが何もない。交通面や強風も気になるが、これまでの地元が不便過ぎたので、今は問題ではない。

## ◆今後の将来設計をする上での前橋市への印象

自然が近い生活ができそう／ゆっくりとした生活ができそう  
前橋は子育てしやすそう／車があれば移動は問題ない  
結婚の支援があるのは安心／前橋の人はあたたかい



## ◆なぜ前橋に住んでいるか、住み続けるイメージ

東京から地元に戻ってきたのは地域の活性化に貢献したい  
と思ったから／結婚とかに支援があるのは安心する／  
自然が近い生活がしたい



## ◆働くことへのイメージ

ワークライフバランスを重視する／私生活のために仕事をして  
いるという考えでいる／すべてを仕事に捧げると嫌になった時  
なにもなくなってしまいそう／生活するための仕事。  
仕事自体も稼ぐというよりも誰かの役に立ちたい



## ◆地域づくり・地域活動と自分との関係性について

※地域のお祭りにほぼ全員が小中学生まで参加。

- ・ゼミ教授が地域との関わりが多い場合、学生時点でかなり地域との接点を持つことになる。
- ・七夕まつり、前橋まつり、商店街のイベントなど小さい頃から行っていた。
- ・様々なイベントに参加してみて初めて、前橋の魅力や活動の魅力に気づくことができた。
- ・誰でも気軽に参加できるイベントがあることは大事。



- ・駐車場がお金かかる。街中に個人的な魅力を感じる人以外は来ない。自然と来ることはない。
- ・社会人になって、企画側になるのだと思う。おそらく強制参加だと思うと、それは嫌かな。



長期的な目線で将来設計をする上では大いに可能性あり。  
前橋市が子育てや暮らし方のイメージとマッチしている様子。  
他地域と差を付けるような支援体制も効果的か。

また前橋市で働くことをイメージした時、キャリアアップよりワークライフバランスを重視する声が大多数だった。

若者・子ども

グループ⑤ 高校生





# グループ⑤ 高校生（属性サマリ）

自然が身近にありながら都市的な要素もあることに対して好印象を受けつつも、通学時や休日の交通アクセスに不便さを感じている。地域に対する興味は高く、地域活動や伝統行事への幼少期からの参加が鍵となっている。部活動の地域移行については、比較的前向きな印象を持っている。

	属性	好き嫌い	満足度	幸福度	コメント抜粋
A	 男性 高校1年 バドミントン部 実家暮らし 前橋出身/桂萱地区在住	好き80点 嫌い20点	70点	70点	○愛着があって好き。 ×ちょっと足りない感じがする。もう少し魅力があると良い。
B	 女性 高校1年 硬式テニス部 実家暮らし 前橋出身/南橋地区在住	好き70点 嫌い30点	60点	70点	○高齢者の人たちは知恵がある、その人たちの意見は心強い。 ×夜人が少ないと不安になる。街灯がないと怖い。
C	 女性 高校2年 以前ピアノと書道 実家暮らし 渋川出身/前橋へ通学	好き60点 嫌い40点	60点	60点	○都会過ぎず田舎過ぎないところが良いところである。 ×若者向けのスポットが少ない、風が強い、交通の便が悪い。
D	 男性 高校2年 アーチェリー部 実家暮らし 前橋出身/元総社地区在住	好き80点 嫌い20点	95点	60点	○高齢者から若い世代までが元気な街で良い（マラソンなど） ×住んでる地域に公園がない。遊ぶところがあると良い。
E	 女性 高校1年 趣味ギター 実家暮らし 前橋出身/大胡地区在住	好き65点 嫌い35点	70点	55点	○よく前橋公園に行く。馬場川通りなども景色が良い。 ×アクセスが悪い。県庁所在地なのに交通の便が悪い。
F	 女性 高校1年 国際理解サークル 実家暮らし 前橋出身/南橋地区在住	好き70点 嫌い30点	70点	70点	○住んでいるところの周りにあらゆるものが揃っている。 ×元気21など勉強などに利用したい時に使えないことがある。

# グループ⑤ 高校生

## ◆前橋の好き嫌い、魅力や課題

愛着がある／歴史あるお祭りがある／ほどよい都会感と自然  
／水と緑が豊富、ホタルの里（田口町）／自然環境が魅力／  
文化人の存在／都会過ぎず田舎過ぎない／人の温かさ

風が強くて通学が大変／交通の便が悪い／学生が遊べる場  
所がけやきウオークくらいしかない／夜になるとこわい  
（暗い）／まちの開発に地域差がある

## ◆市立前橋高校の魅力や課題

探究学習の魅力に惹かれた（他校にはない取組）  
／広い敷地／専用野球場／硬式テニスコート（オムニ）／  
人工芝サッカー場／クーラー付き体育館／修学旅行が台湾  
／キッチンカー、アイス自販機など快適な設備／模擬市長  
選、模擬議会とか特色あるイベント

## ◆地域・地域行事と自分との関係性について

面倒臭い・古臭いとは思わない／どんど焼きで同級生と会う  
のが楽しみ／むしろ「伝統ある行事」として価値を感じる／  
自分が守れる誇りとか伝統があることが自分にとって価値が  
ある／見る・参加する程度で良い

## ◆授業のスタイル、部活動について

【授業】グループワークは主体性があり、教えることで理解が  
深まる／新しい意見や視点が出るので学びが広がる／みんなで  
学べる方が良い。

【部活】マイナー競技など顧問だけでは不足する専門性を補え  
る／人数が少ない部活は参加者増えそうで期待

教科書を読めば済む内容だと、授業の意味が薄れる／  
教えられるだけだと受け身でモチベーションが下がる／  
グループワークが増えすぎると、苦手な人が参加しにくい。  
部活が学校にないと寂しさを感じる／地域で活動だとチーム編成  
不安／ずっと聞いてるけど地域移行のイメージが湧かない。

## ◆自分の将来のイメージ ※全員進学（県内5、県外1）

お金の面などを考えて県内／将来の夢はまだない。その分お金を  
貯めたい＝県内で進学／一人暮らしてできる自信がない／経済的な  
面から制約がある。将来的には群馬県に住みたい

高校独自の探究学習（模擬市長選等）への評価が高い。  
自主性を高める学習スタイルを望んでいる傾向。  
高校生が地域や多世代と交流できるような場の提供が郷土  
愛の情勢（UIターン）へ繋がるか。

若者・子ども

グループ⑥ 中学生※





# グループ⑥ 中学生（小中学校教員） 属性サマリ

小中学校の勤務経験（他市の学校含む）から**前橋市の子育てや教育環境には好印象**を持っている。一方で、学校現場の課題は年々複雑化しており、**教員自身の裁量による対応への悩みが増加**している。不登校や配慮が必要な児童生徒が増加する中、フリースクールや地域など新たな連携も必要と感じている。

属性

好き嫌い

満足度

幸福度

コメント抜粋

A



女性 40代 市内小学校教員  
専門：体育  
パートナーと子供 前橋在住

B



女性 40代 市内小学校教員  
海外の教育に興味  
パートナーと子供 渋川在住

C



男性 40代 市内中学校教員  
学習塾勤務経験あり 部活動に精力的  
パートナーと子供 前橋在住

D



女性 20代 支援学校教員  
聾学校勤務経験有り  
パートナーと同居 前橋在住

E



男性 20代 市内中学校 非常勤  
親と同居 前橋在住

聴取なし

こども達の特徴を周りが理解して認め合うことが大切。  
自分も教師でありながら、自分の子どもに関わる時間がない。

グレーゾーンの子を取り出して教育するよりは、その子たちがいる普通にいる状態でサポートをしてくれる大人が入れるとよい。前橋の学校に赴任して、集金袋を配られたのが驚き。

前橋市はとりあえず新しいことをはじめ。  
統廃合、統合すると学区が広くなると通学が大変。

多忙感でいうと特別支援より普通学級の方が忙しいと聞く。

すぐ一環で情報周知充実したけど、中学生ほぼ知らない。  
学校現場に法律の専門の方を配置できたら良い。

# グループ⑥ 中学生（小中学校教員）

## ◆前橋市の子育て、教育の魅力や課題

こども達が遊ぶ場所、公園がすごく多いと思う／駅周辺に聴覚障害のある子に向けた看板もあり配慮が良い／学童が多くて安心／校務補助員は助かる／スクールカウンセラーと連携できる／習い事など前橋は多くの選択肢がある

こども達からボールを使える公園がないとよく聞く／デジタルではなく集金袋の利用に驚いた／群馬は体力的にも投げる力が弱い

## ◆こどもと達向き合う時間について

校務補助員、オープンドアサポーター、スクールアシスタント等サポートがたくさんある

支援スタッフに任せると担任としてさぼっているような気がする／地域とのつながりが少ないと感じている／コミュニティ・スクールも充て職に限界がある／自分も教師でありながら、自分の子どもに関わる時間がない／専門性がない分野の仕事が増加している／地域の人材に関わってもらえると良い

前橋市の子育て環境や教育環境は比較的好印象。  
教員の多忙化解消のため、校務補助員や地域ボランティアの充実など「学校と関わる人材」の発掘が求められる。

## ◆不登校児童生徒へ対応、考え方

向き合う大人が増えて良かったと思っている／担任がダメな子もいるのでいろんな先生と関わると良い／担任としてはキャパオーバー／こども達も来れない子がいるのは当たり前／フリースクールもあるが、学校としては紹介できない（学校として見捨てるわけにはいかない）／受け止め方次第、登校できないことをダメとするのか

## ◆特別な支援・配慮が必要な児童生徒について

関わる大人が増えていく事が大事／グレーゾーンの子を取り出して教育するよりは、その子たちがいる普通にしている状態でサポートしてくれる大人が入れるとよい／目が悪い子がメガネをかけるのと一緒に／個性として周りが認めていく／こどもの育ちにとっては一緒に学べる方が良い／こども達同士のサポートも多くある

教員側は既にインクルーシブ教育を実践されているが、教員と生徒の相性などの影響も少なくないため「チーム担任制」の導入・推進など、生徒が多くの人と関わる環境を整えることが成長機会の創出となるか。